

AA日本ニュースレター

私書箱

〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916



AA 日本ゼネラル・サービス・ミーティング・文書委員会
TEL03-3590-5377 〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F



No.27

オーストラリア AA コンベンションに参加して

第28回オーストラリアAAが、本年3月28日から4月2日まで、西オーストラリア州の港町、フリーマントルで開かれるから参加してみないかと、西ドイツ、ミュンヘンで開かれたワールド・サービス・ミーティングに出席したWSM評議員から案内を受けた。もう5年も前から、西太平洋地域の国々のAAが定期的にミーティングを開いて、分かち合いをしたいという話は、漠然とした形ではあるが根強く語られてきた。アメリカ・カナダは年1回、カンファレンスで会う。南米の国々もヨーロッパの国のAAも、2年に1回、WSMを挟んでゾーンミーティングを開き、そのとてつもない広い地域の苦しんでいるアルコール依存症者がAAにつながり易くするように、サービスについて話し合っている。

西太平洋地域にAAのある主な国々は、オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国、シンガポール、インド、タイ、フィリピン等であるが、来年1992年に韓国AAの10周年記念集會が開かれることを伝え、参加してほしいと頼みにいくことにした。

政治、経済、文化の諸相が地球的にその発展を考えていく時代に、AAも、グループ、地区、地域、国を超えてサービスの仕事を分かち合うことが必要で、定期的なゾーンミーティングにするには、その前に行き来することが必要だと考えたからだ。

3月29日「AA世界を巡る」というプログラムで、オーストラリアと参加国 カナダ、アメリカ、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、そして日本が分かち合いをする機会を与えられた。そこで、日本AAが16年前にスタートしたこと、ハイパーパワーや神概念が、欧米人と同じ条件で理解し得るものであって、古くから一部欧米社会にある、仏教や神道のあるアジア社会にはAAプログラムは効かないのではないかという事実無根の心配を取り除く努力をした。そして、オースト

ラリアでもそうであることが分かったが、最近アメリカでも、サービスに関する活動は活発だが、読むべき情報が多すぎ、討議すべき事項があまりにも多く、暖かいスポンサーシップをエンジョイし、ホームグループでステップを分かち合うスペースや時間を侵していることを話し、共感を得た。アラノンとの協調も話したが、ニックネームの日本独特のAA文化について話した。日本のAAがスタートしたとき、目の前に「これがAAです」と姿を現してくれたのは、英語を話す人達の軍人や民間人だった。彼らはAAミーティングでファーストネームを名乗り、ジョンとかトムとか言っているのを見聞きした。ある仲間が皆にニックネームをつけることを勧めた。かくして日本にはニックネームのAA文化が出来、同行した仲間がイージーというニックネームを使い、大変人気があった。

主題のゾーンミーティングについては、具体的にオーストラリアに行って、その人たちの前で訴えることが効果の大きいことを知った。2人のWSM評議員や、12人のうち、大半が出席した理事達、多数のサービス関係者を含む600人位の前だから手ごたえは十分だった。

韓国の10周年記念集會を中心にして、その前後、文書のやり取りと国と国との往来があれば、数年後にはゾーンミーティングの第1回を開くことは可能である。しかし実現させるには条件がある。私達のきりっとした回復は、ステップを踏んで行くことを省いてはあり得ない。スポンサーシップやホームグループを通じて、与えられた経験を伝えて行くスペースをたっぴりと確保してのうえでの事だと、心中深く思いながら帰路に着いた。オーストラリア出張に関しての報告書は、BOX 916に2回くらいに分けて載せてみたいと思っている。

J S O 林

— アルコホーリクス・アノニマス —

1989年度メンバー統計調査（アメリカ・カナダ）

AAのゼネラルサービスオフィス（ニューヨーク）では個人の無名性を留意したうえでのメンバーの統計調査を1968年から3年毎に行っています。1989年の調査結果がこのほどパンフレットとなって発行されましたので、ここに紹介します。この調査の目的は、AAという集まりの現状と傾向をメンバー及び専門分野の皆様にお知らせするためのものです。

1989年度の質問項目は無作為に抽出された12,000人のメンバーに評議員を通じて届けられ、その内、9,349名から回答が寄せられました。（アメリカ・カナダの全メンバー数は、1989年現在で916,782名、1990年のはじめで978,982名）



1. ソブリエティの長さ

ソーパー5年以上	29%
1年～5年	37%
1年未満	34%

*全メンバーの平均ソーパー年数は4年2カ月

2. メンバーの性別

全メンバーでは	女性	35%	男性	65%
30才以下では	女性	40%	男性	60%

3. ミーティング出席回数

メンバーの平均ミーティング出席回数は週3回

4. AAにつながった要因（複数回答可）

AAメンバーを通じて	34%
治療施設から	30%
自分から（自分の意志で）	27%
家族から	19%
カウンセリング機関から	10%
医師を通して	7%
上司もしくは職場の同僚から	6%
友人・知人から	4%
アラノン・アラティーン	
メンバーから	4%
新聞・雑誌・ラジオ・TV	3%
AAのパンフレット	3%

5. メンバーの年齢

21才以下	3%
21才～30才	19%

31才～40才	30%
41才～50才	25%
51才～60才	14%
61才～70才	7%
70才以上	2%

*メンバーの平均年齢は41才

6. メンバーの職業

専門技術職	23%
労働者	17%
管理職	13%
セールス	6%
家事	5%
職人	5%
事務職	5%
学生	4%
定年退職者	8%
無職	6%
就労不能	3%
その他	5%

7. その他のアンケート

メンバーのグループ所属

メンバーの88%がホームグループに所属している。

スポンサーシップ

メンバーの85%は現在及び過去にスポンサーがいて、その内の72%が90日以内にスポンサーを得ている。

AAにつながる以前のAA以外の援助：

AAにつながる以前に、医療、心理、宗教等の治療、もしくはカウンセリングを受けた経験をもつメンバーは68%となっている。

その内の80%がAAにつながるうえで、それらが大きな力になったとのことである。

その後のAA以外の援助：

AAにつながった後も、医療、心理、宗教等の治療もしくはカウンセリングを受けているメンバーは60%おり、その内の85%が、アルコールリズムからの回復の上でそれらの援助が非常に重大な役割を果たしているという意見をもっている。

アルコールリズム以外に薬物依存があるというメンバーは42%である。

《ダイヤモンドは永遠に》

『BOX916』が、情熱ある少数のメンバーの手によって発刊のスタートを切ったのが1982年……。私達、5人の編集委員が右も左も分からないままに『ダイヤモンド・ダスト』をスタートさせたのは、1990年の春でした。すぐにでも逃げ出したい気持ちと、ひきつった「やる気」とがないませの、今になって思い返して見ても不思議な気持ちのスタートでした。「本づくりは人づくり……」内心そうした課題をもちながら手探り状態で3月号は発刊されました。

現在、北海道には14のAAグループがあります。広大な地域にあってその数は少なく、メンバーの数もさまざまです。3月号を発刊させて一番ショックを受けたのは、メンバーの数が少ないはずのグループからの注文数でした。10冊、20冊と、そのグループのメンバー数の3倍、5倍もの注文でした。しばらく過ぎて、そのあるグループが注文した本のほとんどが地元の「まだ苦しんでいるアルコール中毒者たちへのメッセージ……」に使われたと知って動転したのです。

広大な地、北海道。メッセージを運ぼうにも限られてしまう地域だからこそ、多くのメンバーの賛意と協力とで誕生したダイヤモンド・ダストだったのです。そして、それはまさにその通りに使い始められたのですが……。札幌にはAAメンバーも多く、5つのグループに別れてそれぞれの「今日一日」を与えられていて、本の注文も25冊、30冊と多いのはある程度予測できました。こう言ってしまうと叱られそうですが、本当に1年間に何度か他の地区のミーティング場にお邪魔させて頂くのですが、やり繰りが大変だろうなと感じられる場合がしばしばでした。身勝手な先入観と言われるとその通りに違いないのですが……。そんな訳で思わず動転したのです。

しかし、これでひきつった「やる気」がシャンとなり、逃げ腰だった気持ちもカチンとなりました。原稿はチラシの裏でもいい、あらゆる手ずるを駆使しても原稿を集めようとの合言葉で1年が過ぎました。私たちは恵まれていました。多くのメンバーの賛意と協力の中でのスタートだったのですから。

「BOX916」のコピーだと言われたり、技術的なご指摘を頂いたりとにぎやかな関心を集めてしまう毎号の発刊ですが、売れることはメッセージだとばかりに、いつもバッグの中に最新号を何冊か持ち

歩いています。2年間の任期で何ができるかと模索する中で得た感触は、共同で本を作ることの素晴らしさ、与えられた情熱を少しずつ具現できる実感を、次の仲間たちに伝えて行くことかなと思うのです。まだまだ沢山の思いを載せてみたいのです。多くの仲間たちの声や、表紙のデザインだって。

全国の仲間の皆さん、「ダイヤモンド・ダスト」を一度手にとってみませんか？ 北国の私達にメッセージをお願いできませんか？

AA北海道インターグループ
ダイヤモンドダスト編集委員会

24ページのメッセージ

私達がいつもこのダイヤモンド・ダストを読ませて頂いて感じることは、内容のほとんどがメンバーによる話で構成されており、私自身実に様々な出会いをさせてもらっています。まるでミーティング場にも行ったような気持ちにとらわれてしまうほどです。顔も知らない方々と活字を通しての「経験の分かち合い」が、いわゆるもう一人の自分を写し出す“魔法の鏡”であることに改めて気付かせてもらっております。また、北海道らしいネーミングとデザインやカットにも細かいこだわりが感じられる本だと思います。当院では外来待合室、アルコール専門病棟においており、退院にまぎれてこの本を持って帰る方もおられます。そんなことから、何時、誰の手に渡るかも分からないことを含めて、今苦しんでいる多くの仲間へのメッセージとして期待したく思っています。

医療法人恵仁会・空知病院
PSW 長坂 和別

もらった本

この本とは“仲間からもらった”というのが出会いです。当時の私は仲間のどん底をワクワクしながら読んでいました。まもなく、赤線をひっぱり始めたかと思うと、眉間にしわを寄せて考え込んだような気がします。しかし、だんだんと時が経つにつれ、目を通すことも少なくなりました。

近頃、自分の見方、考え方が本当におかしいのではないかと感じる事が多くなり、落ち着きを失ったこの時期に原稿の話があり、読み直して見てピン

ピンと“仲間”を感じます。心底ハイパーパワーを感じます。自分のどん底が人前に出るだけでなく、活字となつてのこるといふのはとても勇気のいることと思うのですが、必ず“助かった”と感じている仲間がいることは間違いないと思います。今、助けられた一人の中毒者として、永く続けてほしいと思っています。頑張ってください。

*この後、彼女は自分の物語の一部を切り取って、D・D委員会に送っていただきました。6月号をお楽しみに.....。

◇ご注文、及びメッセージ(投稿、感想、ご意見等)に際しては下記までお願いします。

☆札幌市白石郵便局私書箱29号
北海道インターグループ
ダイヤモンド・ダスト編集委員会

尚、ご注文くだされば全国どちらにも郵送致します。年間購読も随時受け付けております。年間5回(3・6・9・12月と特集号)発行しており、各1部150円ですが別に送料を1部72円ご負担いただきます。

郵便振替 小樽5-43492 AA北海道インターグループまで
お願い致します。

全国ラウンドアップのご案内
これから予定されている各地のラウンドアップ

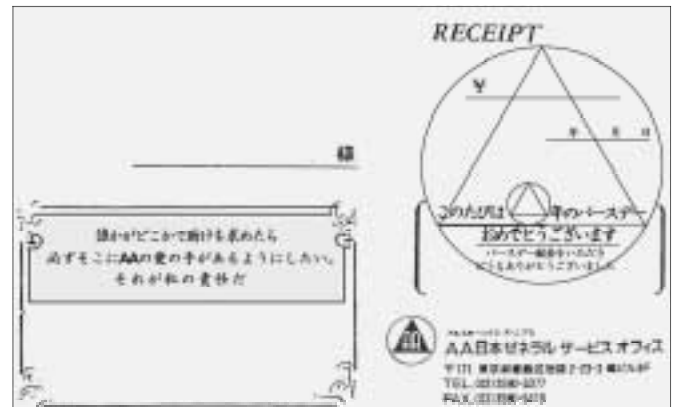
- ☆AA'91関東甲信越春季ラウンドアップ
5月31日(金)~6月2日(日)
於 千葉県九十九里センター
- ☆'91AA中四国ラウンドアップ
6月28日(金)~30日(日)
於 広島県安芸郡能美保養センター
- ☆第5回九州地域ラウンドアップ
7月12日(金)~14日(日)
於 伊万里市佐賀厚生年金休暇センター
- ☆第5回東北ラウンドアップ
8月30日(金)~9月1日(日)
於 宮城県釜房いこいの家
- ☆'91AA北海道ラウンドアップ
9月21日(土)~23日(祝)
於 富良野『北誠荘』



お待たせしました！

日本GSMで発行を決定していたバースディ・カードがこの度できあがりしました。バースディ献金をしていただいた方に、特性の封筒に入った、このカードをお送り致します。皆様からのご利用を心からお待ちしております。

J S O



今号から数回にわたり、各地域でAAの出版に携わっている方々のご活躍ぶりを特集として掲載することと致しました。地域それぞれのおかれている条件に合わせたメッセージ活動の一端が皆様にお伝えできればと願っております。今回はその手初めとして北海道インターのダイヤモンドダストを紹介させていただきますが、その文面からもサービスに対する熱意がひしひしと感ぜられます。次号にもご期待ください。

ニューズレター編集委員会



上記、3種類のサービスマークを日本AA アルコホーリクス・アノニマスは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用下さることをお願い致します。